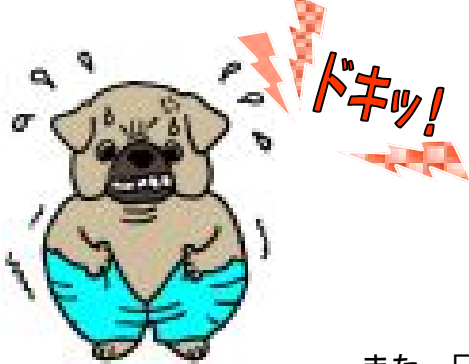


## フィラリア症予防薬

日に日に寒くなり、もしかしてフィラリア症予防薬のこと忘れちゃっていませんか？フィラリア症予防薬は投薬した日より前1ヶ月間に寄生したフィラリアを駆虫するお薬です。今は寒くても1ヶ月前はまだ蚊が出ていました。昨年のデータによると、大牟田市近辺では11月中旬まで蚊の発生及び吸血が確認されていますので、やはり最後は11月中旬以降の投薬になります。また、その後も暖かい日があれば、蚊を見る事があるでしょう。その場合はまた投薬をしてください。（沖縄では1年中投薬しているそうです。）当院でも毎年何例か、最後の投薬を忘れてしまったり、途中投薬を忘れたために、フィラリアに感染してしまったワンちゃんが検査により見つかります。感染すると最低でも2～3年の治療が必要です。大切な家族を苦しめないために、最後まで投薬を忘れないでくださいね。

## 体脂肪!?

## 期間限定 無料測定



皆さんはワンちゃんの体脂肪率をご存知ですか？ワンちゃんの体脂肪率の理想値は15～24%です。今までは体脂肪率を測定するための簡単な方法がなく体脂肪率の測定は一般的ではありませんでしたが、今年の10月に新しく犬専用体脂肪計が発売されました。当院でもモニターとしてスタッフのワンちゃん及び来院したワンちゃんの一部で体脂肪を測定させていただきました。なんと結果は……

スタッフのワンちゃん平均23%

患者さん平均32%（11月14日現在） ……でした。

（ちなみに最高は43%でした）

また、日本全国平均は29.2%ということなので、現在日本のワンちゃん達はちょっと太り気味なようです。モニター期間は終了しましたが、当院では2月までに期間限定で体脂肪率の無料測定を行っておりますのでお気軽にどうぞ（1才以上の犬）。ただし皮膚疾患があったり暴れる場合は測定できない事もあります、また測定のために一部の毛を濡らしますのでご了承ください。

## 歯科シリーズ

- - 歯の破折について - -

歯の破折（歯が割れたり、欠けたりすること）は歯によく見られる外傷性の損傷です。歯の破折はその程度にもよりますが、通常は抜歯等の処置を必要とします。抜歯を行わない場合にも注意深く経過を追って診ていく必要があります。特に、犬の場合には硬いものを噛む事によって、力が一番かかる上顎の第4前臼歯（上の犬歯から4つ後ろの歯）の破折が多く見られます。上顎第4臼歯はその歯の根が眼の下近くにおよぶため、この歯が損傷して化膿すると眼の下が腫れたり、ひどくなると膿が外に出てきたりします。この場合、抜歯が必要となります。歯が歯の深くまで破折して時間が経つと、歯の中心にある歯髄という部分（血管、リンパ管、神経があるところ）が黒く変色してきます。この場合も歯に対する予後は悪く、抜歯が適応となります。

金属やプラスチックを噛んでしまい、歯に異方向からの力が加わると動物の強靱な歯でも意外に簡単に折れてしまう事がありますので十分注意してください。また、歯石沈着の予防を目的にワンちゃんに硬いものを噛ませる場合には、できるだけ安全性が認められている専用の物を準備してあげてください。

空気が乾燥する季節ですね。人間同様にワンコ・ニャンコだって乾燥のし過ぎは良くありません。もちろん気管支炎など病気の面でもそうですが、美容にも良くないんですよ。皮膚が乾燥してカサカサになったり被毛も乾燥で静電気が起きたりするんです。皮膚がカサカサになるとフケが出たり痒みが出るし、静電気は被毛を痛めてしまいます。お母さんのお顔と同じ、毎日のお手入れが肝心です！ブラッシングをする時はペット専用のブラッシングプレーを使いましょう。乾燥しているからといってベチャベチャにつけすぎないでね！ブラッシングは毛の根元から、毛についたホコリを落とすように、丁寧に少しずつしてあげましょう。シャンプーは保湿効果の高いもので洗い、たまにはトリートメントをしておくことで皮膚もしっとりになりますよ。そしてバランスのとれた愛情ご飯で乾燥しにくい健康な皮膚にすること。それから、暖房の当たりすぎはダメですよ！ホットカーペットも皮膚を痛めやすいので注意！

# わんこ・にゃんこ日記 2006 冬コレクション

スタッフワンコ お気に入りの洋服で ハイ! チーズ!!



2006年もいよいよあと1ヶ月。ホント“あっ”という間ですね。日に日に寒くなり、陽も短くなり、待合室から見る外観は冬一色。病院前の道路は通学路のよう

で、朝夕は学生さんたちのパレードです。そんな姿を見て制服を懐かしいと思ったり、自転車寒そうだなあと思ったり…。これってやはり年をとった証!?そんな中、病院・ショップの中庭(外)で、「寒いよ～」とつぶやきながらも、文句を言わずに仕事してくれているワンコがいます。11月からNEWスタッフとして仲間入りした『エリザベス』。昼間はあまり目立たず、細々としていますが、暗くなると本領発揮!?誰よりも輝いています!そんなエリザベスへスタッフからメッセージ 「毎日忘れずに洋服(ネオン)着せに来るからね!」「いつも和ませてくれてありがとう」「いろんな服(ネオン)持っててすごいね!」「私だけにいつも尾を振ってくれるエリザベス♡そんなあなたが好きよ♡」「一人じゃさびしいので、来年は家族を作ってもらおうね」「エリザベスにしか出来ない仕事。頑張ってくれてありがとう」etc皆さんお気づきでしたか?『エリザベス』をよろしくお祈いします。

## 病気シリーズ

- トキソプラズマ -

### はじめに

トキソプラズマ症は孢子虫類に属する原虫によって引き起こされる疾患です。ネコ科の動物が最終的な宿主(終宿主)ですが、犬やヒトを含め多くの温血動物に感染します。

### 感染源と感染経路

トキソプラズマの感染源となるのは感染初期のネコの糞便と、感染動物の肉および乳です。殆どの感染経路は経口感染なので、ネコの便に汚染された食物の他に生肉、生乳の摂取、乾燥して空気中にまい上がった原虫を摂取する事で感染します。

### 症状

犬および猫での臨床症状はほぼ同じで、発熱、嘔吐、下痢などが一般的で、一部重症になる場合もありますが、ほとんどの動物が無症状なので確定診断のためには特殊検査が必要です。ヒトも同様に無症状で経過する事が多く、症状が出る場合も発熱や軽い風邪のような症状で気づかれないことがほとんどです。妊娠中に初めて感染した場合は流産や胎児の神経系の傷害などが起きる場合があります。

### 予防

主な感染経路は食品からの経口感染なので、食品の扱いに十分注意する必要があります。食肉は十分に過熱する、肉を扱った後は手を洗う、肉を切った後の包丁やまな板で野菜を切らないなどが予防になります。もし、トキソプラズマに感染した猫がいた場合、猫の便についても感染性を有するまでに1~数日間必要なので、便をすぐに片付けてしまえば予防できます。